

2019年4月1日  
公益財団法人中国地域創造研究センター  
会長 平野 正樹  
(担当：産業創造部 加連 之智)

## 「2019年度中国地域質感色感研究会」運営要領

### 1. 研究会の目的

本研究会は、質感や色感など感覚的であいまいな部分を科学的に計測・分析して、感性に富む付加価値の高い魅力的な商品・サービスの開発を目指す企業の支援を目的とします。

### 2. 活動期間

2019年4月1日より1年間

### 3. 費用

無料です。

ただし、交通費、研究などに係る諸経費は参加企業の負担となります。

### 4. 構成メンバー

委員長 公益財団法人中国地域創造研究センター産業創造部長

副委員長 別表1の研究者に委嘱する。

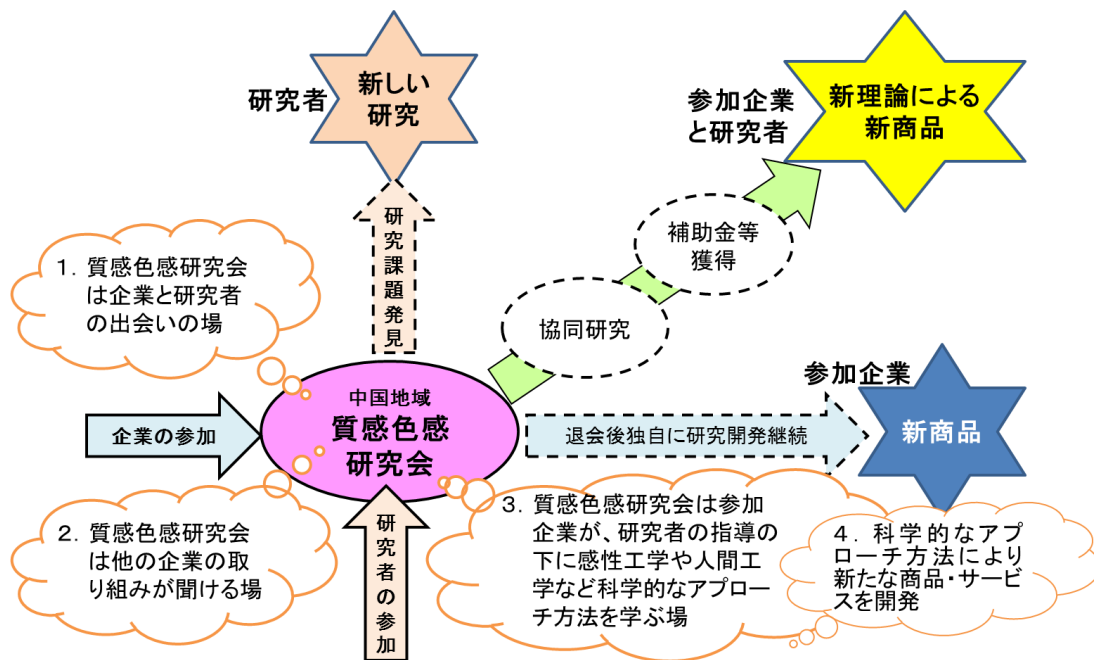
委員 別表2の企業メンバー

オブザーバー 委員長は客観的な意見を求めるために、オブザーバーを招聘することがあります。オブザーバーは秘密保持・知的財産等に関する覚書の締結者または法令により守秘義務を負う公務員もしくはみなし公務員に限ります。

### 5. 解決を目指す課題

本研究会では、貴社が抱える次のような課題を感性工学や人間工学などの見地から、大学等の研究者の支援を頂きながら解決していきます。

- ①質感・色感・風合い・肌触り・快適性などに優れ、差別化された新しい商品及びサービスを開発したい。
- ②質感や風合いなどを自在に操って、バリエーションに富む商品をお客様に提案したい。
- ③趣味性が高い商品の「作り手のこだわり」の内容を科学的に分析し、技術の向上に努め、関連する製品にも展開したい。
- ④質感、色感、風合い、肌触り、快適性などを定量化し、製品の求める品質基準や規格を定め、それを管理したい。
- ⑤収集したアンケートの情報を科学的に分析し、把握の難しい嗜好の傾向や特徴などを解析し、より良いサービスに繋げて行きたい。
- ⑥若手開発研究員の育成の場にしたいたい。



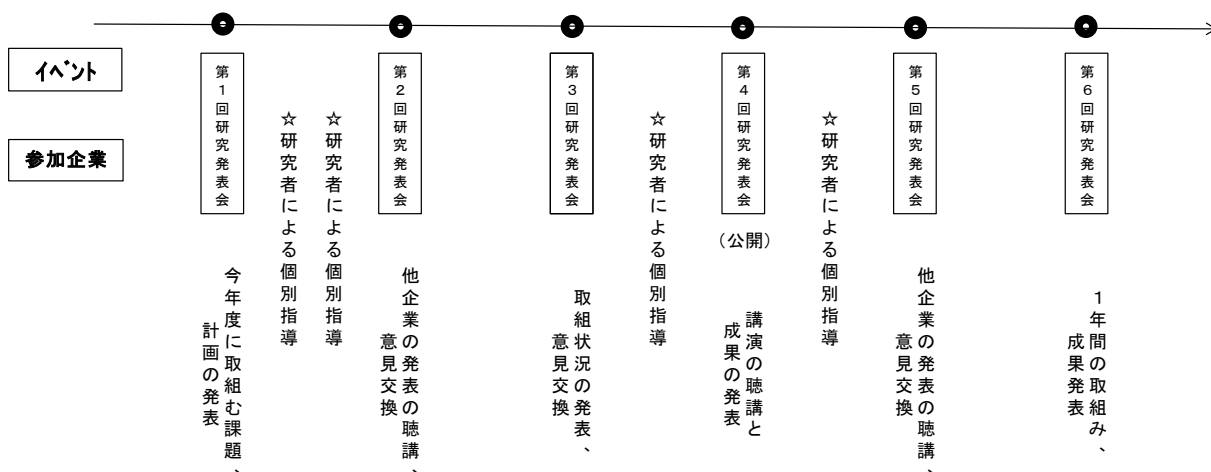
## 6. 活動内容

当研究会での活動は、研究者の指導を受ける個別検討会と、その取組状況や成果などを発表する研究発表会から成ります。

なお、研究者はアドバイザーであり、活動の主体は企業自身です。

自らが課題を明確にして、活動に取り組むことが不可欠です。

### 参加企業のイメージ



### ①個別検討会

企業の抱える課題を研究者の指導を受けて解決を目指します。

開催の要領は次のとおりです。

- ・ 1社1課題につき年間12回の開催ができます。
- ・ 日時や場所は企業と研究者間で直接調整して、個別検討会開催申請書（様式1）を提出してください。
- ・ 開催ごとに議事録を当センターに提出してください。

### ②研究発表会の開催

6回程度の研究発表会を開催します。

このうち1回は一般公開で、研究者を招聘して感性・人間工学の研究活動に関わる講演会と、これまでの活動企業の成功事例などを紹介します。

参加企業には、各社の抱える「質感」・「色感」などに関わる課題、取組計画、検討状況・成果などについて、年間2回から3回の発表をして頂きます。

### ③研究発表会でのアドバイス

各企業の発表に対して、参加されている研究者や他企業からアドバイスをして頂きます。

また次回の研究発表会までに発表した企業がどのような検討や実験などを行うのかを確認します。

### ④参加企業発表の聴講と意見交換

他社発表の時にも可能なかぎり参加していただき、発表を聴講して意見交換をお願いします。また自社でのご経験から積極的にアドバイスして頂くことを期待しております。

### ⑤研究成果の取りまとめ

取組み完了時と年度末に、取組みの総括（解決手法、成果の概要など）をお願いします。報告の際には開示の可否と開示できる内容について明示していただき、参加企業のご了承のもと当研究会の活動事例として紹介させていただくことがあります。

### ⑥研究成果等の活用について

公開可能な研究成果については、学会での発表や募集されているアワード等への応募、また貴社ホームページ、カタログ等でのご活用をお願いします。

ご活用される場合は、当研究会名の記載、事務局への連絡をお願いします。

## 7. 情報の開示

研究会に参加されていることを当センターのホームページや会報などで開示させていただきます。また、申込書に記載の参加者氏名・所属名・役職名および、「解決したい課題」、「解決後の貴社の状況」などを参加研究者・企業に開示します。そして研究会においては課題の検討状況も開示して頂きます。

## 8. 社内の体制について

感性に富み付加価値の高い魅力的な商品・サービスの開発には、企画、設計、研究部門だけでなく、営業、製造、品質管理などの部門との連携が大切です。掲げた課題を解決するために必要な体制を整えて下さい。(課題や手法にもよりますが、負荷の3割程度はこの研究会の研究活動に割いて頂ける担当者が必要です。)

## 9. 研究会参加後の方向性

研究会で学んだ手法を活用して、新商品の開発などを実現して、さらに参加企業と研究者が新たなテーマの解決や商品開発に合意され、共同研究に進まれることも期待しております。当センターでは、100万円の委託研究費を支給する「新産業創出研究会」という補助事業を運営しております。また、国レベルの補助事業(サポインなど)の管理団体を行っておりますので、企業と研究者のプロジェクトをこのような形で支援することも可能です。

## 10. 翌年度への継続

この研究会の活動期間は1年単位です。引き続き翌年度も継続を希望される場合は、継続参加の申込をお願いします。研究者と相談の上、継続の可否を判断させていただきます。

以 上

事業区分番号

223

## 中国地域質感色感研究会の個別検討会〔開催申請書〕

年 月 日

申請者

企業名氏名 \_\_\_\_\_ 印

開催日時	年 月 日 : ~ :
開催地 〔住所〕	[ _____ ]
参加者 (敬称略)	指導研究者 企業メンバー  事務局
テーマ	
課題 検討事項 指導を受けた い事項等	
その他 (添付資料等)	

## 【事務局記載欄】

産業創造 部長	ネットワーク支援グループ		
	グループ長	副グループ長	担当

標記の個別検討会を開催し、指導研究者に出席を依頼します。